



伝わりますか やさしさ
感じますか ふれあい

株式会社ホテル松本楼

渋川市



- ▶ 代表者: 松本 光男
- ▶ 設立年月日: 1964年11月10日
- ▶ 資本金: 1,000万円
- ▶ 従業員数: 94人
- ▶ 住所: 渋川市伊香保町伊香保164
- ▶ TEL: 0279-72-3306
- ▶ Mail: hotel@matsumotoro.com
- ▶ URL: http://www.matsumotoro.com

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

伊香保温泉で1964年に創業し、温泉旅館を56年営んでいます。当社はホテル松本楼と1997年にオープンした洋風旅館びのんの2館を営業しています。ホテル松本楼においては、黄金の湯・白銀の湯の2種類の温泉をお楽しみいただけます。また、バリアフリーのお部屋や、車イス用トイレも完備しています。温泉については、大浴場だけではなく、お年寄りやお体の不自由な方、小さなお子さまがいらっしゃる方にも安心してつろいでいただけるよう貸し切り風呂もご用意しています。SDGsの取組については『環境に配慮した宿』『あらゆる人にやさしい宿』『地域と共に歩む宿』『共に学び共に成長共に幸せになる宿』を4つの柱とし、あらゆる人の幸せに繋がる宿を目指しております。

経緯・背景

SDGsの取組以前から、お客様に安心してご利用いただけるサービスのご提供を心がけています。時代の変化のなかでお客様のニーズも多様化し、経営としては取捨選択をせざるを得ないことも多くあります。また、東日本大震災以降、昨今のコロナウイルス感染拡大に至るまで、どこか落ち着かない気持ちが続いていますが、SDGs理念を学び今では社内の中での共通言語となり、経営においては羅針盤として大きな存在であることは間違いありません。そのなかで社員と共に知恵を出し合ったことが、ひとつふたつと形になってまいりました。

具体的な取組

- ホテル松本楼では5つの魅力をあげています。
1. 選べる7タイプの客室
 2. 楽しめる2つの温泉
 3. 地元食材中心のお料理
 4. 家族一緒♪お子さま歓迎
 5. 安心のバリアフリー



旅の楽しみの大きな要素は、宿での食事です。私たちはあらゆる方楽しんでいただけるよう、ご年配者の方には刻み食・赤ちゃんは成長に合わせた4段階の離乳食・お子様ランチより少なめな年少さんランチ・ビーガンにも対応する宿泊プランを準備し、安心してお食事を楽しめる宿としてお越しいただいています。食材の地産地消も積極的に行っています。その反面、フードロスに繋がってしまうことも課題として顕在化し、朝食バイキングでのご提供についても、大皿料理より中皿料理に変更し、お客様の召し上がっている状態によって次のお料理を提供するよう変更しています。

お客様と料理人、生産者の「三方よし」の精神が企業価値を高め選んでいただける宿、働きたい宿となり地域活性化の一翼になると考えています。

また、コロナ禍での自粛生活で当館にお越しいただけない方もいらっしゃるから、ECサイトを開設し、『松本楼特製ハヤシソース』『洋風旅館びのんの名物牛タンシチュー』等の販売を始めました。伝統を重んじながらもニューノーマルな時代に挑戦しています。



離乳食
2004年から提供している板前さんが作る離乳食。



ハヤシライス
松本楼のルーツである洋食店当時の味を復刻。

成果・効果

お客様からは、温泉・お食事・お部屋・接客において高い評価をいただいております。私たちの取組を理解いただいているものとありがたく思っています。どの業界よりも、インターネット等の口コミ評価はお客様の気持ちや反応を反映するものと思います。SDGsを経営の柱としてから、お客様のあたたかい声は一層、従業員たちの背中を押していただき、サービス向上のための技術習得を望む声が高まり、コロナ禍において多くの社内研修を実施しています。また、色々とアイデアを出し合ったり、助け合ったりとSDGsの理念は社員の成長に繋がり、自信を持ち、やりがいを持ってお客様に接しているように感じます。

今後もあらゆる人の笑顔のためにサステナブルな経営を進めてまいります。



SDGsカードゲーム
アンカンミンカン富所さんが飛び入りで参加した全館休業を使っの全社員研修。

当社にとってのSDGsと、その展望

社内においては共通言語となり、あらゆる活動の判断基準になりつつあります。費用対効果や直感、あるいは先入観で判断しがちになっていたことや、トップダウンで行われてきたことも社員が主体的に行動し、その必要性等を語れるようになりました。SDGsの取組は時代の変化とともに事業を内側から見直す機会となっています。しなやかでいて強靱な企業体質へ変貌していけると信じています。